



水は株元にあげよう
葉や花にかけないでね！

根鉢をしっかりと湿らせ、
無理に根をはずさずに
(ほぐさずに)植え替える

春の代表的な花苗のインバチエンス、ペチュニア、ベゴニア、ビンカ(日々草)、コリウス、ポーチュラカ…。世話をすると、コンテナいっぱいに広がり、秋まできれいに飾れます。

若返りの秘けつは切り戻し。1本ずつ茎を確認し、元気な葉のある節の上を切る

茎に傷をつけないように
穴をあけてから挿してね



急にしおれると病気や肥切れと考えがち。でも、まず水切れを疑って、バケツに短時間(10分程)つける位たっぷり水をやって、様子を見るのが基本



プレゼント

「プロミック いろいろな植物用」150g・578円を10人。土に置くだけの簡単肥料。きれいな花を咲かせ、植物を大きく育てます。株の充実に優れた効果を発揮します。効果は約2か月間持続。23℃の応募要領で。プレゼント番号=30、賞品名=プロミック 商品提供=ハイボネックスジャパン ☎06-6396-1119 <http://www.hyponec.co.jp>

指導／園芸家・中道徹三郎 協力／ガーデンショップ金久 大阪府泉佐野市日根野2545 ☎072-467-2413 イラスト／小阪裕子

【春の花苗を秋まで満開に】



秋まできれいに咲き続けるベゴニア 写真提供／中道徹三郎

【苗選び】

春の花苗は、ほとんどが寒さに弱い非耐寒性植物。持ちの「ソラマツ」は、しっかりした苗を選ぶこと。関西では4月半ば～5月中旬に入手すると良いでしょう。ビンカ、コリウス、ポーチュラカなど、夏に強い植物は5月中旬以降に良い株が出回ります。

大きく出来上がった苗より、よく締まつた少し若い苗がお勧め。●茎が間延びしている●下葉が黄色くなっている●茎が伸び切って垂れている株はダメ。花摘みや水やりが丁寧な園芸店で選びましょう。

【植え替えのコツ】

苗はなるべく早く大きな鉢に植え替えます。自宅では、5号鉢(直径15cm)で3株、8号鉢(24cm)で5株、10号鉢(30cm)で8株程度。しっかりと育てるなら10号鉢で3～5株でもOK。庭ではポットの間隔を3cm程あけます。初心者の失敗の原因は黒ポットの土を乾かして植え替えること。必ず植え替え前にポットの土を十分温らせておきます。土を余りはずさずに植え替え、水をたっぷり与え、田町たりの良い場所に置くと根付きます。

【夏は水切れが致命的】

夏に株が急にしおれた時は、病気より先に水切れを疑います。雨続きの後、急に晴天になると、土がカラカラになります。土を余りはずさずに植え替え、水をたっぷり使い、小雨でも水やりする位の方が上手に栽培できます。

【切り戻して再生】

春植えの苗は切り戻すと株が再生します。花が咲いている元気な時に切るのが若返りのコツ。株元に光が当たるよう茎の長さを3分の一程にします。同時に緩効性肥料を1株当たり1～2g追肥して。切り取った茎は挿し芽で簡単に根が出る種類が多く、得した気分になります。

*栽培目標 4月旬植え関西平地

インバチエンス、ビンカ、ペ

チュニア、ベゴニア、サルビア、コリウスは11月中旬を目標に頑張りましょう。